

松原元気プロジェクト！

まちを元気にするひと・団体・会社を紹介



ホームページより

●障がい者の働きたい気持ちをバックアップ！

松原市内で活動する障がい者の就労支援施設と連携し共同受注の仕組みを運営することが、障がい者支援ねっとまつばら（以下、ねっとまつばら）の仕事です。

2015年に活動をスタートしました。

障がい者の就労支援施設で取り組む仕事は多様ですがねっとまつばらでは、主な仕事として、施設の自主製品であるクッキーやレザークラフト、さをり織りなどの販売、公共施設の清掃、軽作業などの共同受注を進めています。

例えば、単独で清掃作業を請け負うのが難しい場合もねっとまつばらがコーディネートすることにより曜日を分担して、仕事を受けることができます。このような仕組みづくりを進めています。

●みなさまの声をお聞かせください！

手作りの製品はコロナの影響でしばらくお休みしていましたが、2022年5月から、市役所のロビーで出店を再開しています。また、市内で開催されるイベントでも販売しています。

みなさまから頂いたご要望をコーディネートして就労

支援施設につなぐことも仕事です。

このように仕事が増えると、障がい者の工賃のアップに貢献できます。公・民間問わず、個人・団体を問わず、多くの注文を受けていきたいと考えています。

そのためにも、情報発信をしたり、就労支援施設と連携をしながら、さらに仕事のクオリティを高めていけるよう、取り組んでいきたいと考えています。

ひとつの施設では難しいことも、ねっとまつばらがコーディネートすることで実現していきたい。

そのためには、ぜひ、みなさまの声やご要望をお聞かせいただければと思います。



事務局長
橋谷智子さん

NPO法人
障がい者支援ねっとまつばら

